

デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生拠点整備タイプ) 事業について

- ▶ 対象事業：①道の駅「明治の森・黒磯」再整備事業
②道の駅「湯の香 しおばら」地域資源総合管理施設整備事業

①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)事業 「道の駅「明治の森・黒磯」再整備事業」

事業名	道の駅「明治の森・黒磯」再整備事業		
事業期間	令和4年度	R4事業費	801,885千円
戦略への位置づけ	《第2次》基本目標1：那須塩原に魅力ある仕事をつくる		
事業内容	■対象施設：道の駅「明治の森・黒磯」 青木ふるさと物産センター 独自商品開発を行う施設、機具類、売り場等の再整備を行い、那須塩原市の観光客の増加、地域農業のブランド化による農家の収入増加と担い手の確保を図る。		

指標		基準値(R4年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
物産センターの売上額 [千円]	目標	215,561	0	159,780	356,143	392,723	429,303
	実績		0				
市の観光入込客数 [人]	目標	6,772,087	6,772,087	7,772,087	9,200,000	9,350,000	9,500,000
	実績		7,512,671				
オリジナル商品の種類 [個]	目標	0	0	3	4	6	8
	実績		0				
用途別乳価より高値で仕入れた生乳の量 [kg]	目標	0	0	2,400	4,800	13,600	10,400
	実績		0				

事業方針等	- 令和4年度第2次補正予算事業として採択。（令和5年3月30日交付決定） - 令和5年度中は旧施設の解体を行い、新築工事を行っていたことから、売上は皆減となっている。 - 令和6年4月26日にオープン
-------	---

②「アグリパル塩原整備」 事業概要

事業名	道の駅「湯の香 しおばら」地域資源総合管理施設整備事業		
事業期間	令和元年度	R1事業費	229,504千円
戦略への位置づけ	1. 「雇用」 6. 「交流」		
事業内容	■対象施設：道の駅 湯の香しおばら 地域資源総合管理施設「アグリパル塩原」 塩原温泉郷玄関口の立地を活かし、地元農産品の付加価値を高める加工・販売等の機能強化等を通じて市外・県外からの集客力の向上を図り、農家の所得向上や施設の自立運営につなげるため、地域資源総合管理施設「アグリパル塩原」を改修		

▶アグリパル塩原外観



②重要業績評価指標（KPI）の設定・評価（アグリパル塩原）

指標		基準値(H30)	R1	R2	R3	R4	R5
道の駅の売上額 [千円]	目標	323,513	323,513	340,000	360,000	380,000	400,000
	実績		227,802	323,421	358,237	457,138	464,095
開発した製品の売上額 [千円]	目標	0	0	1,000	2,000	3,500	5,000
	実績		0	13,705	21,343	29,555	32,868
道の駅内加工施設雇用者数 [人]	目標	0	0	2	3	4	5
	実績		2	5	6	6	6

KPI達成状況に対する所管課のコメント

【道の駅の売上額】

宙飛ぶメロン、米粉及び地元野菜を活用した商品開発に積極的に取り組んでいる。また、既存の売上データを分析して売れる商品の製造量を増やして収益確保を図ったことで目標値を達成した。

【開発した製品の売上額】

主にカフェで販売している地元農産物にこだわったスイーツやジェラートの商品開発に力を入れ、売上げが好調のため目標値を達成している。

【道の駅内加工施設雇用者数】

開発した製品の売上げが好調で、予定より早い段階から人員を多く確保したため目標値を達成している。

KPI達成に向けた指定管理者の取り組み

- ・ さなぶりまつり（6月・参加者150名）
- ・ 夏の人時まつり（8月・参加者500名）
- ・ 暮れの市（12月・参加者100名）
- ・ 正月屋台村（1月・参加者100名）
- ・ 旧正月まつり（2月・参加者300名）

今後の課題

- ・ 国内外の旅行者が増える見込みを踏まえ、更なる集客や売上げ増加につなげる営業方針を検討する必要がある。
- ・ 事業実施主体が法人化した際に代表になった者が経営の中核を担って運営方針を打ち出しているが、法人代表者の後継がないため人材の育成をする必要がある。
- ・ 若者や子育て世代に魅力的な給料体系や雇用環境の体制づくりができておらず、雇用している社員等の年齢層が高い。全ての年代の人材を長期にわたって雇用・育成できるよう、環境整備の必要がある。